

海外事業執行体制



執行役員常務
海外ビジネスユニット担当
森田 隆之

中期経営方針の実現に向けた3つのポイント

当社は、アジアへの注力と現地主導型ビジネスの推進によるグローバルでの成長基盤の確立を中期経営方針として掲げています。

これを実現し、当社がグローバルで社会ソリューション事業を拡大していくために重要なポイントは3つあります。第一に、グロー

バルで魅力あるソリューションを整備すること、第二に、現地でのエンジニアリング・サービス提供能力を充実させること、最後に、お客さまの生命線に関わるソリューションを長期にわたって提供するうえで、お客さまとの信頼関係を醸成することです。

当社の強みを活かせるセーフティ、ネットワークに注力

まず、ソリューションの整備については、環境も所得水準も多様で、地理的にも広がりのあるグローバル市場で当社の強みを生かせる領域を明確にし、重点的に事業を展開することが重要です。具体的には、セーフティとネットワークが2つの柱となります。セーフティでは、世界トップの精度を有する顔認証技術や指紋認証技術などを活用し、2013年にシンガポールに設置したグローバルセーフティ事業部（GSD）を中心に事業拡大に取り組んでい

ます。当年度は中東や南米など新しい市場で受注を獲得するなど、着実に成果を拡大しています。

また、ネットワークでは、当社がソリューション開発・提供で先行し、商用化に向けて積極的な提案を進めているSDN／NFVの領域に注力します。グローバルで多くの実績を有する当社の子会社ネットクラッカー・テクノロジー社との連携も活かし、今後の市場拡大を見据えて活動を強化していきます。

現地でのオペレーション強化に向けて

次に、現地でのサービス提供能力については、自社のリソース拡充に加え、パートナーシップとM&Aを活用した強化を進めています。オーストラリアでは政府向けのIT領域のマネージドサービスに定評のあるCSG社のITサービス事業を2012年に買収し、当社の強みであるネットワーク領域も含めたICT統合マネージドサービスを多くの政府機関に提供しており、お客さまから高い評価を

得ています。南米では映像監視の会社を取得し、当社の画像認識や行動分析技術を組み込んだソリューションの開発・提供を進めています。また、クラウドでは、シンガポールでSingapore Technologies Electronics社との合併を、台湾では鴻海グループとの共同事業を開始しました。

プロジェクトへの積極的な参画でお客さまとの信頼関係を醸成

最後に、お客さまとの信頼関係の醸成については、政府機関との協業や実証実験をととして積極的な関係構築に取り組んでいます。シンガポールではGSDの設立と同期して研究所を設立し、シンガポール経済開発庁や、シンガポール科学技術庁といった政府関連機関との協業を拡大しています。中国の重慶市でも市政府と戦略的パートナーシップを締結し、エネルギーの効率的運用を実現するエコセンターのプロジェクトに取り組んでいます。また、

スペインのサンタンデール市ではセンサやビッグデータ分析を用いて廃棄物収集システムの効率化やクラウドシティ・オペレーションセンターの設置・運営を、米国テキサス州では水の保管理など、社会インフラの運用管理の改善にそれぞれ携わっています。

当社は今後もこれらの取り組みを深化・拡大しながら、グローバル事業の着実な成長をはかっていきます。

当社は、アジアを中心としたグローバルでの売上成長を、「2015中期経営計画」における重要なテーマの1つとして掲げています。北米、中南米、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、中華圏、APAC（アジア太平洋地域）の各地域ごとに特有のニーズをスピーディーに吸い上げ、現地主導型ビジネスの創出に注力していきます。

（注）RHQ：地域統括会社



NEC Corporation of America
President & CEO
高橋 信介

RHQ長メッセージ

NEC Corporation of America社は、社会インフラの安全、安心、効率化に向けたソリューションの提供に注力しています。当社はこうしたソリューションの提供をとおして顧客価値・社会価値の最大化に努めており、中でもSDNや生体認証は、当社が強みを発揮できる領域として、展開を強化しています。また、独自のビッグデータ分析・予測技術の適用を進め、当社の社会ソリューション事業の付加価値をさらに高めています。北米地域における社会ソリューション事業への注力により、当社は既に空港や米国連邦政府、公共自治体、電力会社や水道などのインフラ事業者

に対する新たな事業機会を獲得していますが、今後数年のうちに始まる市場の本格成長に向けて、取り組みを加速していきます。

主な取り組み

当社は当年度、ユニファイド・コミュニケーション(UC)の商品ポートフォリオ強化の一環として、SDNやバイオメトリクス技術に対応したソリューションを新たにラインナップに加えました。流通分野では新しいPOSシステムを用いてハードからソフト、サービスまで一貫して管理できる流通ソリューションを提供し、クラウドサービスにおいては、UCソリューションに加え、コールセンター向けソリューションの提供を行っています。さらに連邦政府向けではバイオメトリクスとUCソリューション商談において契約を結ぶなど、社会ソリューション事業の強化に取り組みました。

次年度も引き続き、NECの強みを活かした顧客価値・社会価値の創出に注力し、北米における事業の拡大に取り組んでまいります。



NEC Latin America
President & CEO
高田 正純

RHQ長メッセージ

NEC Latin America社は、革新的なアプローチで真の社会価値創造に取り組んでおり、これらの価値の提供を通じてお客さまの製品・サービスのクオリティ向上に貢献しています。その実績は既に各所で始めているますが、今後はお客さまやパートナーとの連携を一層強めて、社会の発展に貢献するより良い製品・サービスを提供していきたいと考えています。

中南米には大きな成長ポテンシャルがあります。当社は、NECグループのICTアセットを活用した社会ソリューション事業の提供をとおして中南米における社会課題の解決に取り組む、同地域のさらなる成長に貢献していきます。

主な取り組み

中南米におけるNECの売上は着実に伸長しており、当年度も前年度比での売上成長を実現しました。これは、中南米の各国で、当社のICTソリューションを活用した複数のプロジェクトを獲得できたことによるものです。

具体的には、メキシコでセキュリティ機能の強化などを含むパスポートのデジタル化プロジェクトに参画し、ブラジルでは顔認証を活用して空港の通関手続を支援するシステムを構築しています。また、アルゼンチンではEラーニングを活用した仮想教室を設け、チリでは銀行向けに生体認証システムを納入しました。このほか、コロンビアではデジタルデバйдの解消を目的とした地方のインターネット環境の整備などのプロジェクトを手がけました。

次年度も引き続き、セーフティやエネルギーなどの成長領域を中心に各国で案件獲得に努め、中南米における売上拡大とNECのプレゼンス向上に注力していきます。



NEC Europe
President & CEO
飯塚 直樹

RHQ長メッセージ

「2015中期経営計画」の最終年として、また、次期中期経営計画実現の礎を構築する年として、EMEA地域における当社プレゼンスの確立を目指していきます。具体的には、従来の通信インフラに加えSDN、TOMS、クラウド等のキャリア向け事業を伸長させるとともに、エンタープライズビジネスでは新興国での事業拡大を推進していきます。またEMEA地域でも実績を急速に拡大しているバイオメトリクス、スマートシティプロジェクトを中心としたパブリック事業やスマートエネルギー事業のさらなる強化をはかり「地場に根差したNEC」として地域社会に貢献していく所存です。

主な取り組み

当年度は一部地域で地政学上のリスクもありましたが、EMEA全域での事業基盤の強化に努めました。中東ではサウジアラビアで大型通信プロジェクトを受注し、NECアフリカ社も2011年末設立以降、売上を着実に増やしています。今後は新興国でのさらなる体制強化をはかっていきます。

欧州や中東にはアジア、中南米、アフリカ等に事業を展開するグローバル通信キャリアがあり、日本や他RHQとの連携を通じて関係を強化しています。

今後に向けては、パブリックセーフティ、スマートシティ、サイバーセキュリティ等を積極的に展開し、これらを次期中期経営計画の成長の柱とするべく、取り組みを進めています。既に顔認証では、政府機関のみならず企業向けにも対象を広げています。また、スペインや英国ではクラウド、SDN等の新技術を活用し、都市の利便性向上に貢献するスマートシティプロジェクトに参画しています。



NEC (China)
President
日下 清文

RHQ長メッセージ

NECグループにおける中華圏の重要性は一層高まっています。過去10年の急速な成長と比べると中華圏の経済成長率はやや「巡航速度」に移りつつありますが、既にその規模は日本を大きく引き離し、世界第二の経済大国の位置を固めると同時に、従来の世界の工場という位置づけから巨大な消費マーケットへと、急速にその性質を変えつつあります。NEC（China）社は従来以上のスピードでNECの持つ先端技術・製品をこの変化し続けるマーケットに投入し、多様化・複雑化するお客さまの期待に応えていきます。

主な取り組み

当年度、中華圏では高まるセキュリティーニーズをとらえ、顔認証ビジネスの事業強化をはかりました。加えて、香港では香港政府向け大型ITソリューションを受注、台湾では鉄路局向け自動改札システムや、大手コンビニ向け次世代キオスク端末等を納入することができました。

次年度も引き続きセキュリティ事業の強化をはかるとともに、エネルギー、ヘルスケアなど他領域への事業拡大にも取り組んでいきます。また、当社の北京オフィスは市内中心部近くに移転しましたが、これにあわせて顔認証やSDNなど、最新のソリューションをオフィス内に導入し、当社オフィスをショールームとしてお客さまに直接体験してもらえる環境を構築しました。

香港、台湾でも引き続き大型案件の受注を予定しており、確実な事業拡大を目指していきます。





NEC Asia Pacific
CEO

松木 俊哉

RHQ長メッセージ

NEC Asia Pacific社はASEAN10カ国およびインド、オセアニア地域において事業を展開しています。成長を続けるアジア・パシフィック市場は、ASEAN経済統合に加えて、人口ボーナス期を迎えているインドネシア、インド、フィリピン、ミャンマー、ベトナムをはじめとし、2020年までに約8兆ドルのインフラ需要が見込まれています。当社はICTをベースとした社会ソリューション事業に注力し、バイオメトリクス、サイバーセキュリティ、SDN、ビッグデータ解析、スマートエネルギー等の先端技術を駆使し、“Safer City”の実現に貢献していきます。現地のニーズに合わせたソリューションの開発やビジネスモデルの構築を積極的に推進し、NECのグローバルビジネスのさらなる成長をリードしていきます。

GSDを中心に現地主導型でセーフティ事業を推進

NECは、グローバル成長戦略の柱の一つとして「セーフティ事業」を掲げています。同事業では、2013年4月にシンガポールに設置した「グローバルセーフティ事業部（GSD）」が成長実現の鍵となります。GSDはグローバル市場向けの商品企画・開発やセールスサポートを行うことをミッションとしており、同年9月に設立した研究拠点NECラボラトリーズシンガポールと連携して現地主導型ビジネスの創出・拡大に取り組んでいます。

当年度は、GSDとして現地ニーズに根差して開発したソリューション（NeoFaceシリーズ）を発売し、中東や南米など新たな市場で受注を獲得しました。次年度は、2014年にシンガポールで実証した省庁間連携システムの成果や、サイバーセキュリティ領域でのインターポールとの戦略的パートナーシップを活用した新ソリューションの横展開を加速し、セーフティ事業の本格拡大を実現していきます。

主な取り組み

当年度はオーストラリア、シンガポールで政府官公庁やエンタープライズ向けに大型のマネージドサービス案件を複数受注しました。パブリックセーフティ領域においては、インド向けに顔認証システムを納入したほか、サイバーセキュリティ領域でのインターポールとの戦略的パートナーシップの活用も進めています。さらに、シンガポールでは省庁間連携システムを開発し、各国政府向けに積極的なプロモーションを行っています。

次年度は戦略事業分野であるセーフティ／セキュリティに加え、ヘルスケア、スマートエネルギー、リテール・ロジスティクス・交通、SDN／NFV、マネージドサービス領域のさらなる事業拡大と域内での水平展開を進め、アジア・パシフィック地域のリーディングプレイヤーとして同地域の発展に大きく貢献していきます。



ネットクラッカー・テクノロジー社と連携してSDN／NFVソリューションの展開を加速

NECは現在、通信事業者向けSDN／NFVの本格的な商用展開に向けて、国内外の通信事業者に対して積極的な提案を進めています。当年度は、この取り組みをさらに加速するため、当社の子会社であるネットクラッカー・テクノロジー社と同領域における開発、営業、マーケティングなどの連携を強化し、SDN／NFVのグローバル拡販体制を構築しました。

同社は、グローバルの通信事業者に対し、これまでに通信運用管理ソリューション（TOMS）で数多くの実績を残しています。さらに、SDN／NFVを統合運用するソリューション（MANO）の開発ノウハウも有しています。

当社は今後、この体制強化をとおし、SDN／NFVとMANOとの連携を促進して総合的なSDN／NFVソリューションを提供できるパイオニア企業として、グローバルの通信事業者に対するプレゼンス拡大・実績拡大に注力していきます。